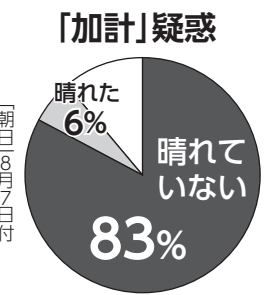


野党+市民 共闘で新しい政治を

国政私物化、改憲、北朝鮮問題——。総選挙で問われる大問題です。野党と市民の共闘で新しい政治に切り換えましょう。

国政私物化

「丁寧な説明」まったく逆
都議選に続き審判を



疑惑	「森友」 国有地を8億円値引きで購入。安倍昭恵・首相夫人の関与
疑惑	「加計」 首相の「腹心の友」が理事長を務める加計学園の獣医学部新設に関与

安倍首相に最も近い人物が疑惑の中心にしながら疑惑が浮上して半年以上、口をつぐんだまま。安倍首相は都議選の惨敗を受けて「丁寧な説明」を口にしたが、やっていることは、まったく逆です。



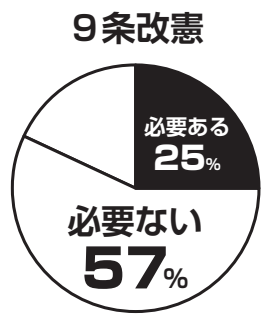
安倍政治に
レッドカード



沖縄の民意を無視
沖縄県民は2014年の名護市長選、県知事選、総選挙で辺野古基地反対の候補者をすべて当選させ、圧倒的な新基地反対の民意を示しました。
にもかかわらず安倍政権は、非暴力の抗議を機動隊を動員して弾圧するなどして建設を推進。こんな民意無視の政治を続けさせる訳にはいきません。

9条改憲

「海外で戦争する国」に
立場超え「ノー」を



NHK世論調査
(2017年4月28日)

安倍首相は「9条1項、2項を残したまま自衛隊を明文で書き込む」という改憲案を示し、自民党は9条改憲を選挙公約に盛り込むつもりです。
自衛隊を憲法で追認するだけにとどまりません。日本国憲法の「武力によらない平和」「不戦」の理念は根本から変わってしまいます。

河野洋平元衆院議長 9条に触るべきではない。
細川護熙元首相 首相の功名のためだけにやる改憲はとんでもない。

北朝鮮問題

米朝は直接対話を

戦争は絶対おこしてはならない

北朝鮮の核・ミサイル問題をどう解決するか。解決の唯一の道は、経済制裁の強化と一体に「対話と交渉による解決」の努力を図ることです。戦争は絶対に起こしてはならないからです。
今の一番の危険は、米国と北朝鮮の間

で偶発的な衝突が起こる可能性が強まっていることです。それを避けるには、米朝両国の直接対話しかありません。
万が一、軍事衝突になれば日本が米国の戦争に自動的に参戦することに。その仕組みを作った戦争法の廃止は急務です。

異常な安倍首相
安倍首相は「北朝鮮との対話は無駄骨だ」と断言（米紙への寄稿文）。国連演説でも「必要なのは対話ではない、圧力だ」と対話を真向から否定する異常な姿勢です。
対話否定